

NPO法人コンカリーニョ 2022 年度事業報告

1. 事業の成果

コロナ後の社会全般のルール付けが収まりを見せつつある中、劇場活動の本格再開の年とするべく、活動したが、社会全般と同じく、やっと5月頃から、以前の賑わいを取り戻してきたところで、コロナからの完全復活には至らなかった。

<2022 年度トピック>

- ・コンカリーニョの自主事業も再開
- ・新職員、新アルバイト加入

【2022 年度での助成金等支援】

札幌市文化芸術活動再開支援事業、(公財)北海道文化財団、北海道事業継続支援金、雇用調整助成金

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 施設運営事業 事業費 45,610 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

公文協のホール・劇場の感染症対策ガイドラインに準ずる形で、徐々に対策ガイドラインの緩和を行い、5月のコロナ 2 類→5 類移行を受け、感染症対策ガイドラインそのものを廃止した。

9～12月の繁忙期以外は、利用は、非常に少ない1年間であった。

10月に琴似商店街青年部からの「ハロウィーンちんどん」の依頼があり、地域とのつながりも深めることができた。

5月から劇場利用促進の営業も、やっと再開した。

		前年度比 コロナ前比
利用率	31.5%	7.8%増 30.5%減
プログラム数	31 本 (中止等 1)	10 本増 33 本減
総利用者数	8,952 人	62.2%増 13,864 人減
事業費	17,996 千円	33.6%増

B) ターミナルプラザことにパトス

1月よりキャパ100%に戻し、5月にスタジオも再開した。キャパ制限のある中での予約獲得は、非常に困難で、まだまだコロナ前の稼働状況には、程遠い1年となった。

ホール稼働率	15.6%	13.4%増 44.0%減
プログラム数	22 本	21 本増 99 本減
総利用者数	2,237 名	1178%増 17,961 人減
事業費	5,481 千円	150%増

C) あけぼのアート&コミュニティセンター

第4期2年目

第4期2年目にあたり、文化芸術団体等に欠かせない、地域の拠りどころとなる施設運営を目指した。

一般貸室の稼働率は、新型コロナウイルスの影響が底打ちし、回復に転じ、全体平均で4.8%増加した。校舎棟貸室は、音楽室が少人数利用で順調に回復したのに比べ、中ホールでは合唱、吹奏楽などが復活、自粛継続に分かれ、交流室も調理、会食が控えられ、2室はわずかな増加に留まった。また体育館は、札幌市内の他の施設の復活などで、前年度には及ばなかったものの、コロナ禍以前の稼働率を上回り、冬期の定期利用が安定し、少年サッカー、バスケの新規利用などで活性化した。長期貸室は、入居団体による中ホール公演、放課後デューサーサービス団体の活動など、施設内利用が活発化した。

「地域とアートの連携事業」は、イベント事業「あけぼの学校祭」は、新型コロナの影響を考慮し中止としたが、「あけぼのdeクリスマス音楽祭」、「あつまれアート展」を感染対策を行い実施した。また屋外での「秋の栗拾い大会」、体験講座事業として「X'mas モビール作り」を開催し、地域の方、近隣のお年寄りや親子、施設の子ども達なども参加した。

		前年度比 コロナ前比
利用率(長期) (一般貸室)	100%	3.7%増 4.8%増
	51.0%	4.8%増 2.0%減
総利用者数	43,408 人	38.2%増 6,289 人減
事業費	22,133 千円	10.4%増

主な事業	
6月25日～26日	あけぼの学校祭 ※新型コロナにより中止
7月31日	サマーフェスティバル ※新型コロナにより中止
10月1日	秋の栗拾い大会 ※屋外での事業として実施
11月23日	X'mas モビール作り
12月11日	あけぼのdeクリスマス音楽祭
通年	○あけぼのファーム活動 2団体、13名個人登録 ○図書ボランティア 7名登録、総利用登録 271名 蔵書 4,489冊、年間貸出書籍数 638冊、総利用者数 357名

○入居者会議 奇数月第2水曜日(6回)

○地域連絡協議会 2回(前期8月25日、後期12月15日)

※新型コロナ等の影響で4月開催、10月開催を延期し開催した。

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧4回(8月、11月、2月、5月)

II. 企画事業

事業費 1,365 千円、総来場者数 1,005 名

2月4日～11日 (中止)	札幌演劇シーズン 2023 冬 劇団千年王国「からだの贈り物」	
4月7日～9日	第14回大生活骨董市～仕切り直し編～	3日間 800人
5月20日～21日	CONCARINO PRODUCE CO vol.1 「COMEDY」【(公財)北海道文化財団助成】 プロデューサー：吉武裕二 出演等：浜田純平、鈴木明倫、きたまり	4st 205名

主催事業 1 本、参画実行委員会主催 2 本

III. 出前派遣事業

事業費 2,825 千円

演劇等公演制作・舞監業務 8 本

JES 日本環境技研チラシ・報告書作成業務

琴似商店街ハロウィンイベント (10/30)

IV. 共通事業

コロナ禍クラウドファンディング返礼演劇公演の取材活動開始

○会員郵送(150 部*3 回)

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第2月曜日 19:00～ 5 回 (7 月、11 月、1 月、3 月、5 月)

スタッフ MTG

各セクション MTG

(2)その他の事業 該当なし